越前大野の魅力　～水と川～

最も水を感じられる善導寺川

周辺環境から生まれる様々な環境

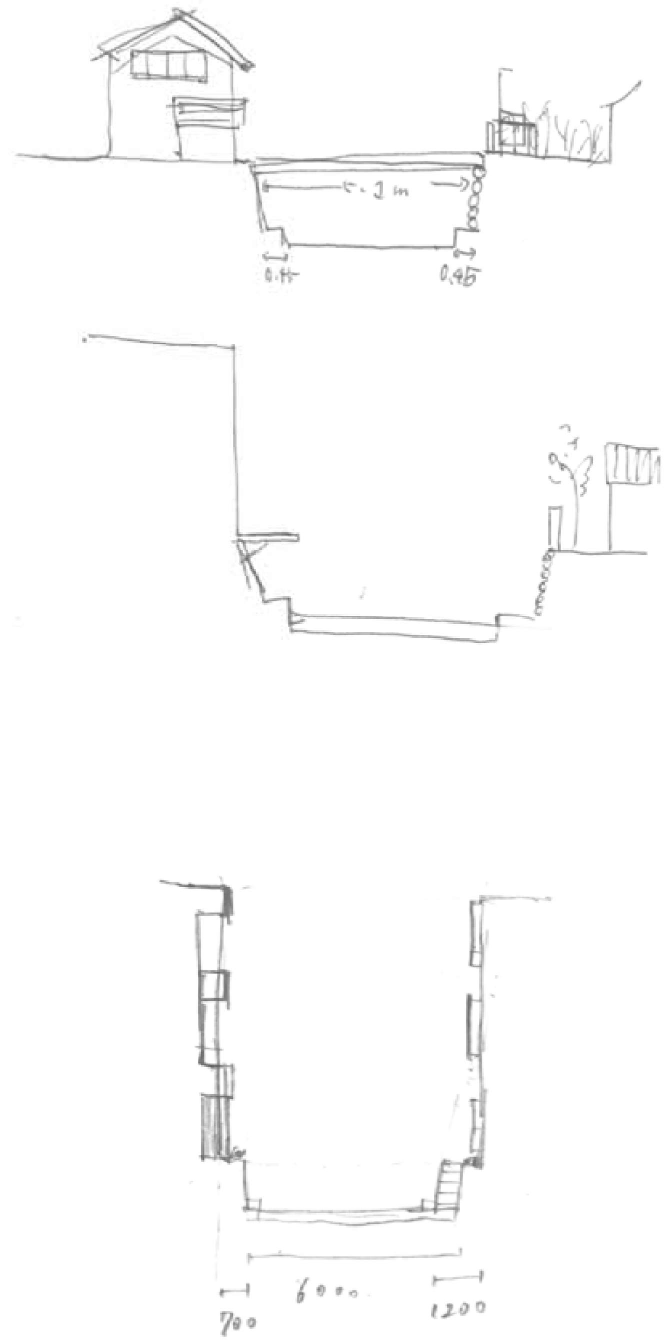
①「水の街、越前大野」のイメージ再生　②河川に沿った複数の個性的エリア

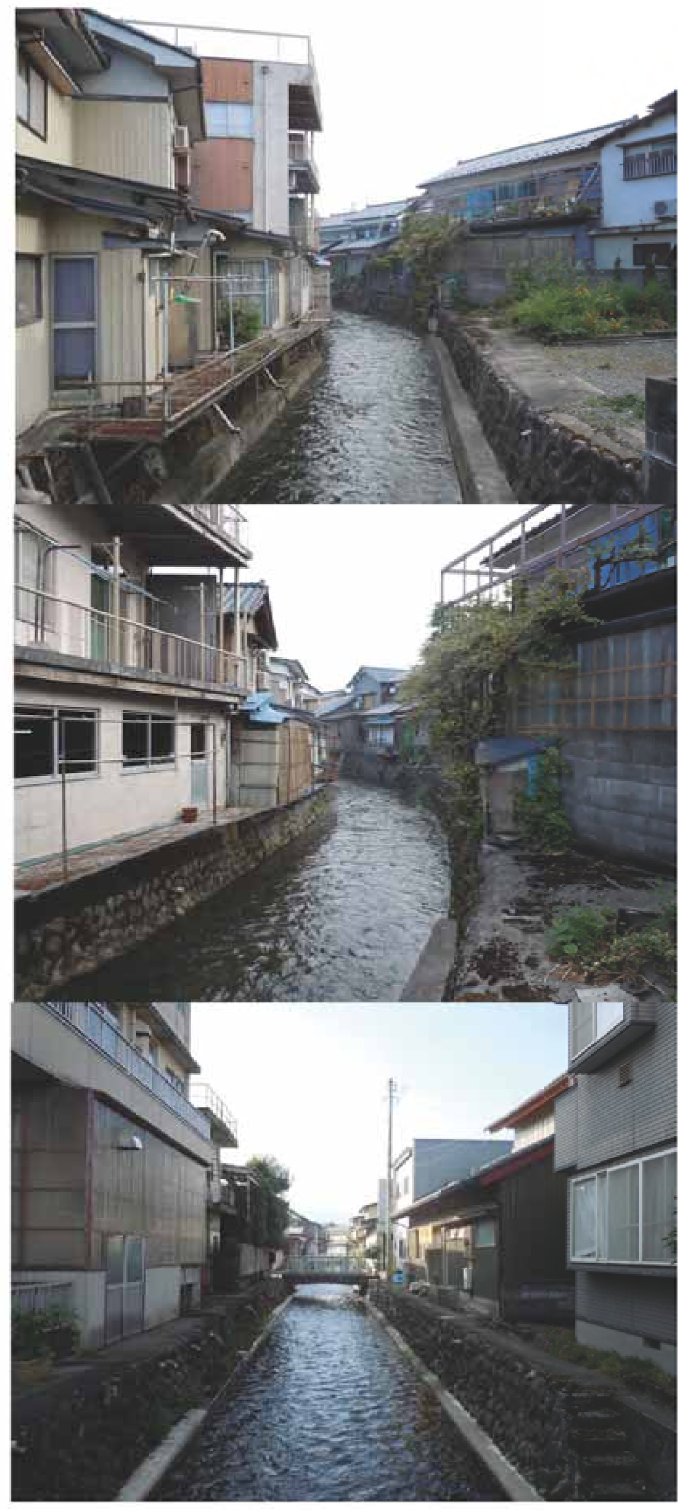
中心市街地に住む人を呼び込むための魅力が多くある

自然をいかした 川辺の魅力的な生活空間

荒川佳大　東京工業大学大学院
木村愛美　山口大学大学院
佐田彩　大阪市立大学大学院
東原一樹　日本大学大学院
水谷亮　日本大学大学院
村中奈々　明治大学大学院

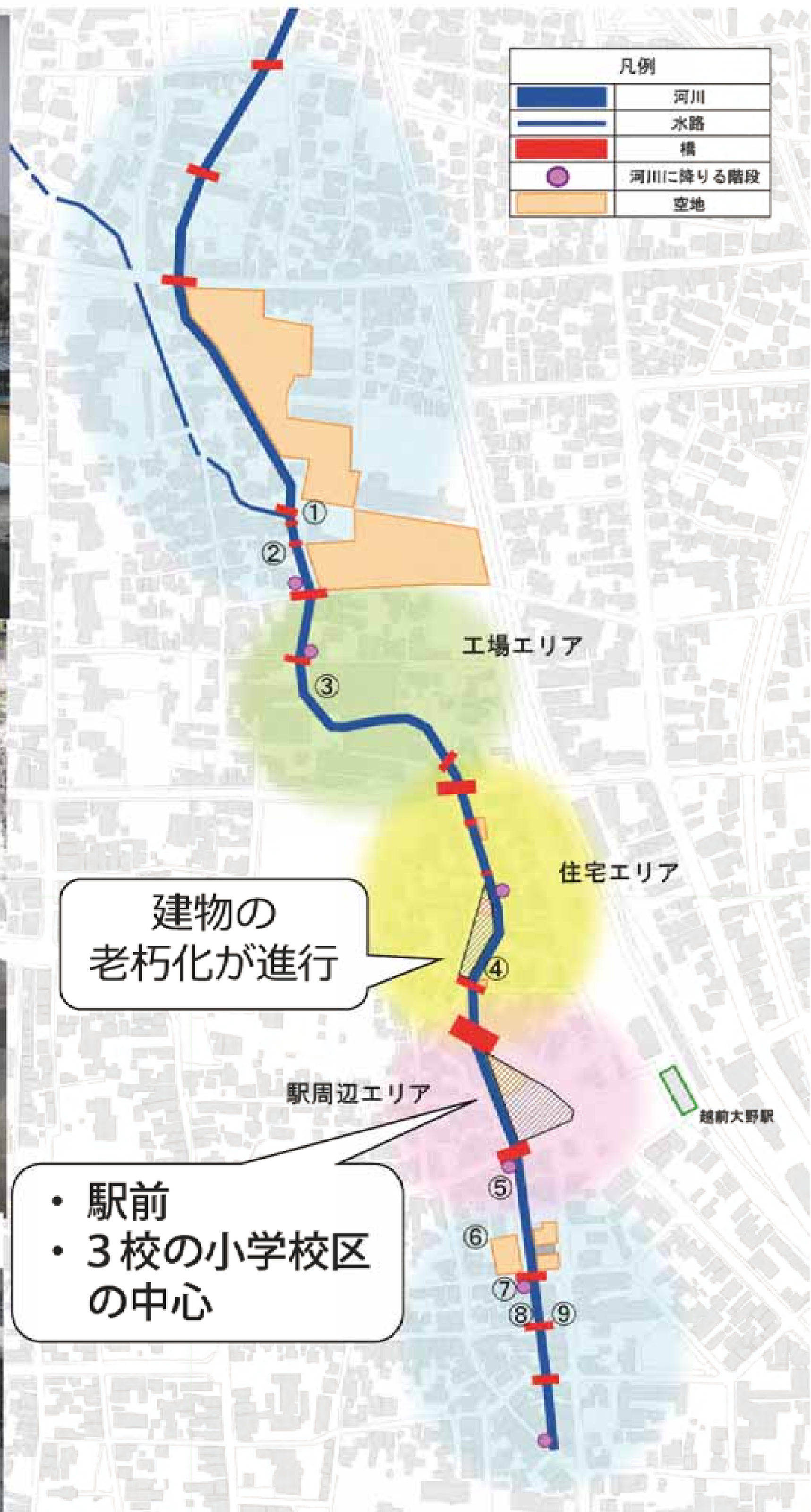
河川の断面調査





現状の断面図から要素を抽出

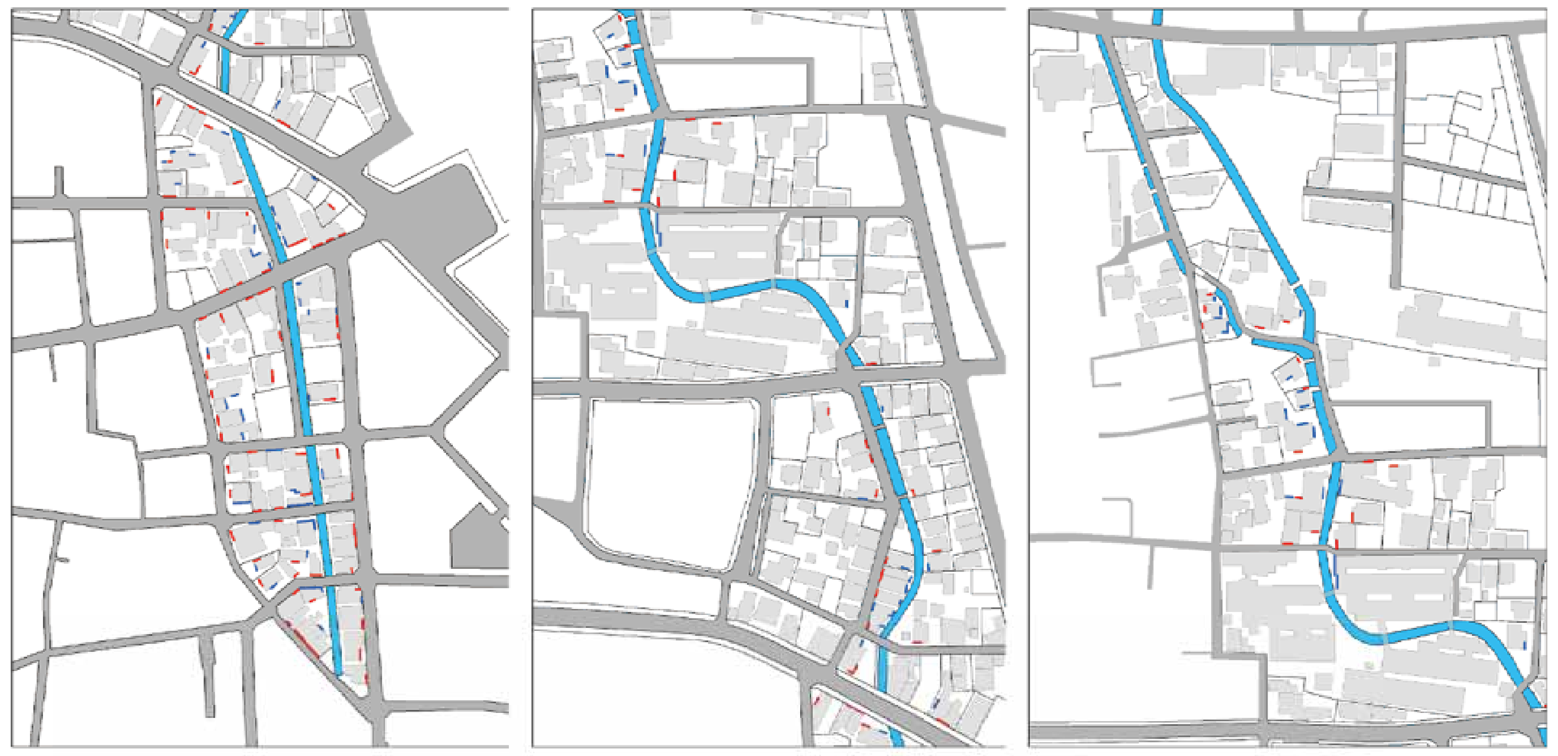
- 川に張り出した生活空間。
- 川沿いの敷地の余白が連続し裏道になっている。
- 川へ降りる階段。（かつて川が生活と密接な関係にあった。）
- プランターや水草などの連続した緑。



河川沿いを歩ける空間、河川を感じることのできる空間は全体的に少なかった

⇩

現在は、住民の生活と河川との関係は希薄であると感じた



善導寺川に向けて開口を設けている家が多い

周辺住民の方に、①善導寺川と生活の関係 ②川のイメージ について ヒアリング調査を行いました

9/2(木)10:00-12:00　4名 9/3(金)7:00　1名　9/4(土)12:00　1名	40代から80代の女性 60代の男性	合計 6名

マイナス	川に子供が入っていたら、危ないので注意をする
	子供のころ(60年ほど前)は遊べる川だった
	今は汚い
	大東染工の工場排水を流して汚くなってしまった
	年に1回しか川掃除をしないので、すぐに汚くなってしまう
	下水整備はされてきているのに、住民が非協力的

プラス	雪を流すためには必要なもの
	かつては川の至る場所に清水があった
	かつては、川に非常に多くのイトヨが生息していた